

敬老の日にマンドリン

2014(H26)
9.19(金)福寿の森
内海祥治さんが演奏会

盛岡市本宮6丁目の老人介護施設ケアセンタ―福寿の森(堀内廣康管理者)で15日、敬老の日に合わせ、マンドリンの演奏会が開かれた。東北地方の大学のマンドリン部OBで結成されたレヴァンテ・マンドリン・オーケストラの内海祥治代表(36)が施設を訪れ、利用者にもなじみのある曲を演奏した。

内海さんは通常のマンドリンよりも低音を

奏でる「マンドロンチエロ」を使い、「翼をください」など8曲を演奏。低く、優しい音を響かせた。「シャボン玉」や「ふるさと」などでは利用者も合唱で参加し、使用したマンドロンチエロが1925年(大正14)年生まれであることを紹介すると「同い年」と手を挙げる利用者もいるなど、和やかな時間が流れた。

阿部武雄さん(87)

は「昔ギターをやっていたので、音楽は好き。とても素晴らしい演奏だった」と感想を話す。マンドロンチエロと同じ年という安部チヨさん(89)は「昔のことを思い出し、涙が出た。長生きしてよかった」と語った。

レヴァンテ・マンドリン・オーケストラでは2000年の結成以来、仙台や盛岡を中心に演奏活動を行っている。11年3月の東日本大震災以降は被害を受けた沿岸地方での演奏にも力を入れているという。ケアセンタ―福

寿の森では、19日にもレヴァンテ・マンドリン・オーケストラの演奏が行われる。



マンドリンを演奏するレヴァンテ・マンドリン・オーケストラの内海代表